

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成25年7月11日(2013.7.11)

【公開番号】特開2011-245184(P2011-245184A)

【公開日】平成23年12月8日(2011.12.8)

【年通号数】公開・登録公報2011-049

【出願番号】特願2010-123605(P2010-123605)

【国際特許分類】

A 6 1 B 3/10 (2006.01)

A 6 1 B 3/12 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 3/10 W

A 6 1 B 3/12 D

【手続補正書】

【提出日】平成25年5月24日(2013.5.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

検査または測定を行うための検眼部を有し該検眼部を被検眼に対して所定の位置関係に位置合わせする眼科装置において、

前記検眼部を被検眼に対して相対移動する移動手段と、

被検眼の前眼部を正面から観察するための観察光学系と、

複数の固視標を持ち、被検眼の固視方向を誘導する固視光学系と、

観察光学系の光軸に対しそれぞれ傾斜して配置され、複数の斜め方向から被検眼の角膜に向けてアライメント指標をそれぞれ投影するアライメント指標投影光学系と、

被検眼の角膜上に形成された前記アライメント指標を受光して、その受光結果に基づいて被検眼に対する検眼部のアライメント状態を検出するアライメント検出手段と、

を備え、

前記アライメント検出手段は、前記複数の固視標から選択された固視標の位置に応じて、アライメント状態の検出に用いるアライメント指標を変更することを特徴とする眼科装置。

【請求項 2】

請求項 1 の眼科装置において、

前記アライメント検出手段は、前記アライメント指標の高さから作動距離方向におけるアライメント状態を検出することを特徴とする眼科装置。

【請求項 3】

請求項 1 ~ 2 の眼科装置において、

前記アライメント検出手段は、選択された固視標の位置と略同じ方向から投影されたアライメント指標を用いて前記アライメント状態を検出することを特徴とする眼科装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 0 】

(1)

検査または測定を行うための検眼部を有し該検眼部を被検眼に対して所定の位置関係に位置合わせする眼科装置において、

前記検眼部を被検眼に対して相対移動する移動手段と、

被検眼の前眼部を正面から観察するための観察光学系と、

複数の固視標を持ち、被検眼の固視方向を誘導する固視光学系と、

観察光学系の光軸に対しそれぞれ傾斜して配置され、複数の斜め方向から被検眼の角膜に向けてアライメント指標をそれぞれ投影するアライメント指標投影光学系と、

被検眼の角膜上に形成された前記アライメント指標を受光して、その受光結果に基づいて被検眼に対する検眼部のアライメント状態を検出するアライメント検出手段と、

を備え、

前記アライメント検出手段は、前記複数の固視標から選択された固視標の位置に応じて、アライメント状態の検出に用いるアライメント指標を変更することを特徴とする。

(2) (1) の眼科装置において、

前記アライメント検出手段は、前記アライメント指標の高さから作動距離方向におけるアライメント状態を検出することを特徴とする。

(3) (1) ~ (2) の眼科装置において、

前記アライメント検出手段は、選択された固視標の位置と略同じ方向から投影されたアライメント指標を用いて前記アライメント状態を検出することを特徴とする。